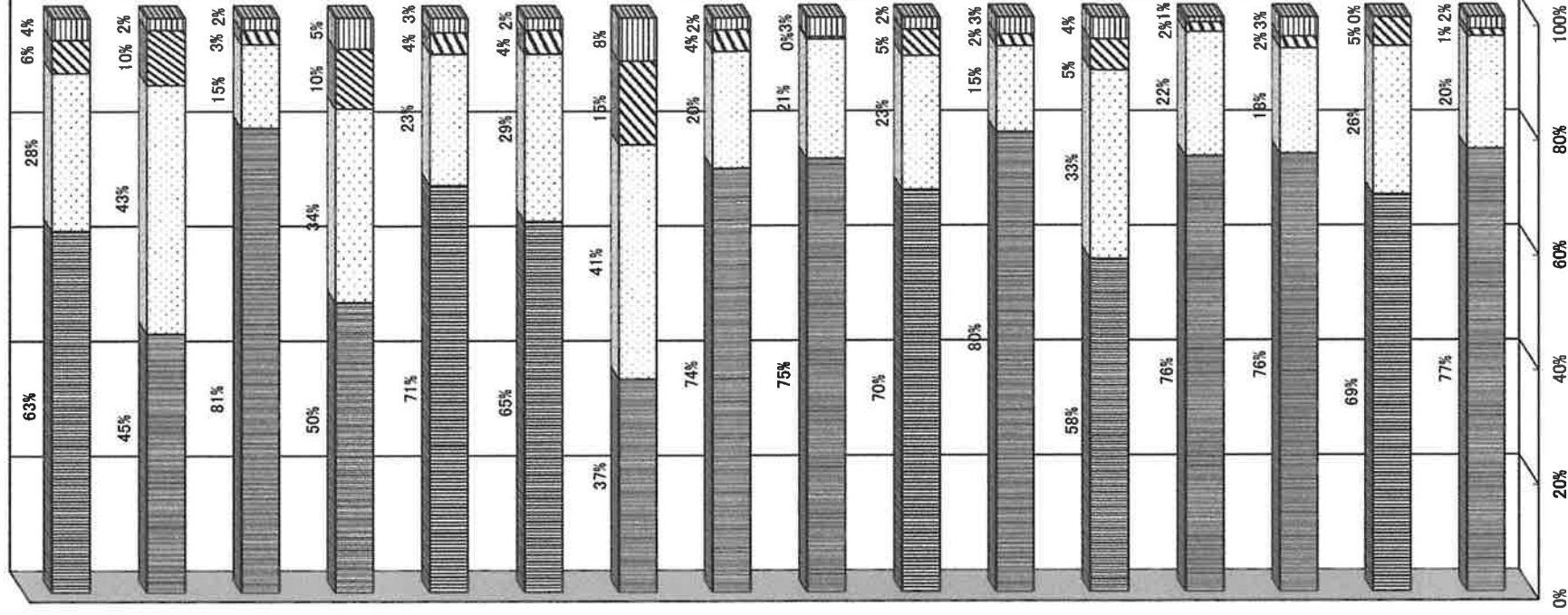


令和5年度 児童対象アンケート集計結果（12月実施）

よくあてはまる
 だいたいあてはまる
 あまりあてはまらない
 全くあてはまらない

- 1 学校へ行くのは楽しい。
- 2 自分の学級は、みんな仲がよく、まとまりがよい。
- 3 学校の先生は、私たちをよく見てほめてくれたり、よくないことについては注意してくれたりする。
- 4 学校には、なんでも相談できる先生がいる。
- 5 先生は、困っている問題（いじめなど）について、すぐに解決できるようにしてくれる。
- 6 授業はわかりやすく、楽しく学習できている。
- 7 私は、本やタブレットなどで調べたり、まとめたことを発表したりしている。
- 8 道徳の時間などで、命の大切さや思いやりの心を学んだ。
- 9 実物や本物を見たり、自分で体験したり、専門家の方の話を聞いたりする学習は、楽しい、よくわかる。
- 10 地域の方との勉強や活動は楽しい。
- 11 朝の読書や「南山おはなし会」の読み聞かせは楽しい。
- 12 先生や友達、地域の人たちに進んであいさつができる。
- 13 私は、交通安全に気を付けて登下校している。
- 14 係の仕事や、清掃、委員会活動をしつかりやっている。
- 15 地震（津波）や火事、不審者に会った時、どうすればいいのか知っている。
- 16 安全や健康に気を付けて学校生活を送っている。



令和5年度 保護者対象アンケート集計結果（12月実施）

よくあてはまる
 だいたいあてはまる
 あまりあてはまらない
 全くあてはまらない
 わからない

1 子どもは、楽しく学校に通っている。

2 子どもは、話ができる友達・仲のよい友達がいると言っている。

3 学校は、子どもをよく見てほめたり、よくない行動について指導したりしている。

4 学校には、子どものことを相談できる先生がいる。

5 学校は、子どもが困っている問題に対応している。

6 学校は、「わかる授業」「楽しい授業」づくりをめざし、指導している。

7 学校は、授業内容を工夫し、調べたり発表したりする力を伸ばしている。

8 子どもは、生命大切にすることや思いやり心が育っている。

9 学校が行う、本物とふれあう活動や体験は、子どもたちの豊かな心を育むという点で有効である。（観劇、秋遊び、町たんけん、三谷祭山車見学、農業教室、環境チャレンジ、ヨット・SUPなどの海での体験他）

10 学校と地域で『まちぐるみ』で子どもたちを育てていくことが大切であると思う。

11 朝の読書や「南山おはなし会」による読みかせは、子どもにとって本に親しむための大切な活動になっている。

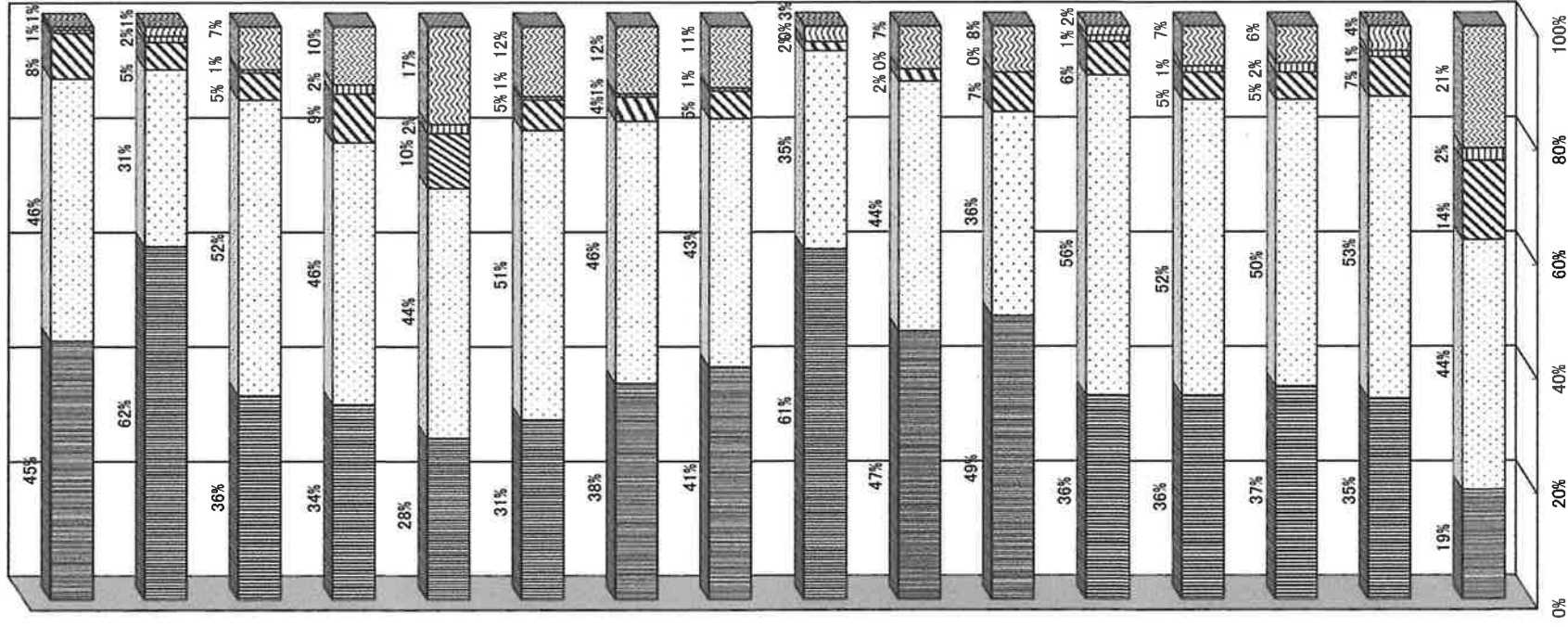
12 子どもは、あいさつや基本的な生活ができるようになってきている。

13 学校は、子どもの安全・安心・健康な生活づくりに努めている。（登下校の指導・交通安全教室など）

14 学校新聞・学校通信「南山の四季」・学年・学級通信・保健だより・PTAだより等は、学校との連携に役立っている。

15 学校は、学校行事等に参加しやすいようにしている。

16 PTA活動は、子どもの福祉や健康安全、学校環境の整備、会員相互の福祉充実、教養の向上などに努め、役立っている。



令和5年度 学校経営評価アンケート(児童・保護者)まとめ

《設問別アンケート集約結果より》

今年度は、市内統一の設問を1つ増やし、児童・保護者とも16の設問とし、うち13設問について児童の捉えと保護者の捉えが対比できるよう、設問内容について考慮してあります。そして、それぞれの設問に対して児童用は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」のいずれかで回答をしています。保護者用は、さらに「わからない」も加えて回答をお願いしました。「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせたものを肯定的な回答ととらえ、結果を考察しました。

- 設問1・2については、児童・保護者とも90%前後の肯定的な回答でした。しかし、設問2の否定的回答を昨年度と比べると、児童も保護者もそれぞれ、4ポイント増の12%、5ポイント増の6%となっています。このことから、多くの児童が学校に魅力を感じているが、友達との人間関係に不安を抱え、学級の輪に入れないでいる児童も一定数いるということが読み取れます。魅力ある学校づくりに取り組む一方、不安を抱えている子に寄り添い、サポートしていくことができる学校体制を目指し、今後とも取り組んでいきたいと考えます。
- 設問3・4については、昨年度との増減は大きくなく、ほぼ横ばいでした。児童の肯定的回答のうち、「よくあてはまる(積極的肯定)」だけに着目すると、それぞれ4ポイント増、5ポイント増の81%、50%となっています。これは、日頃からなんでも相談できる雰囲気づくりに心がけたり、定期的に教育相談期間を設けたりと、一人一人の不安感に寄り添う体制づくりに学校全体で取り組んできた結果だと考えます。設問5については、児童の「先生は困っている問題について、すぐに解決できるようにしてくれる」は94%で、先生が解決に向け、対応してくれていると感じているという結果でした。一方、保護者の「学校は、子どもが困っている問題に対応している」は、昨年度よりも3.7ポイント減の72%と、他に比べ低い値で、児童の回答とも大きく離れています。問題解決に至っていない事案や、根本的解決がされていないことがあるのではないかと心配です。子どもたちに寄り添った指導をしていくとともに、児童・保護者とのよりよい関係づくりを大切にしていきたいと思います。
- 設問6～11については、昨年度に引き続き、保護者はすべての設問で80%以上、児童は設問7以外で90%以上が肯定的な回答でした。特に、昨年度より高い数値だったのは、保護者の設問9です。地域に向いて実物を見たり、地域の専門家を講師として学校にお招きしたりと、地域とかわりながら進める学習を積極的に取り入れてきた結果だと考えます。また、今年度の新たな設問10は、児童・保護者とも90%以上が肯定的な回答でした。今後とも、地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりを大切にし、魅力ある授業づくりに努めていきたいと思います。
- 設問12～15についても、肯定的な回答が、児童は90%以上、保護者もほぼ90%前後の高水準を保っています。今後とも、高い水準を維持していただけるよう、学校全体で取り組んでまいります。
- 保護者の設問16「PTA活動は…」は63%と昨年度よりさらに5.6%減少し、「わからない」の回答が21%にもなっています。コロナ禍で、縮小や中止が続いた活動が徐々に復活したり、形を変えたりしています。今後のPTA活動について、役員の方々と内容・方法等の検討をしながら、よりよい方向へと進めていきたいと思っています。ご協力、よろしく願います。

《「学校経営評価アンケート」保護者の声より》

学校教育・各種行事・PTA活動等について、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございます。また、「いつも楽しく過ごしていること、成長の機会を与えてくださっていることに感謝の気持ちしかありません」「学校が行っている、あいさつ、規則正しい生活、募金等の取り組みはとてもよいと思っている」などのうれしい声が届き、とても励みになります。

今後「三谷東小の子どもたち」のために、保護者・地域の願いを大切にして諸問題を解決する努力を続け、よりよい学校をめざしていきたいと思えます。そのためにも、「子どもたちのための情報提供やご意見・ご助言」「学校行事・PTA活動への積極的なご協力」をよろしく願います。

以下、設問ごとに主なご意見と学校の考えを掲載させていただきます。

【授業参観／学習発表会について】

「授業参観や学習発表会などを兄弟それぞれが見られるように時間を考えてほしい」

⇒1年のまとめとして表現を工夫し、発表する場「学習発表会」については、昨年度のご意見を鑑み、今年度は学年でできる限り重複しないよう時間を調整し、兄弟姉妹それぞれを見ていただくようにしました。待ち時間等、課題もあるかと思いますが、実施後、またご意見をいただけるとうれしいです。子どもたちの学習の様子を参観する「授業参観」は、今年度は感染症の心配が減り、ほぼ制限なく行うことができました。時間や内容についてのご意見につきましては、参考にし、来年度以降に生かしていきたいと思えます。

【服装（制服／体操服／ジャージ）について】

「ジャージを自由にしてほしい」「体操服に名札をつけるのはやめた方がよい」

⇒長年懸案だった制服着用については、お知らせしてあるとおり、令和7年度より自由化します。

これは、制服を着てはいけないということでも、私服登校ということでもありません。制服を着用していた集会や式で、制服を着用する必要がなくなる、ということです。体操服はそのまま、これまで通り着用することができますので、ご承知おきください。

また、ジャージについては、今のところ、自由化は考えていません。体操服の名札については、防犯上の観点から、今後検討していきたいと考えています。

【運動会について】

「運動会を土曜日または日曜日にしてほしい」

⇒午前中の実施について、「半日ではつまらない」というご意見もありましたが、「できれば半日がよい」「子どもの体力や乳幼児を抱えている方々は、1日では負担」というご意見もありました。また、平日開催についても、「土日にしてほしい」「平日はやめてほしい」等、数名の方にご意見をいただきました。土曜日のほうが参加しやすいという方もいるとは思いますが、蒲郡市の指針に示されているように、土日の休日は「家庭に帰す」「家庭で過ごす」を基本に考えています。来年度も平日半日開催を考えています。

※令和6年度より、学校経営評価アンケートは、記名にて実施する方向で検討していますので、ご承知おきください。